

## 公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月20日

団体名 岡崎サイエンスクラブの会

代表者 岸 由美

構成員 10 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

## 団体の目的:

本会は科学教室の開催を通して、市民文化の発展に寄与することを目的とする。  
(様々な自然科学の授業書を体験することにより、たのしく学ぶこと、理科、科学に関心をもつ)

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
12月26日	図書館交流プラザ	市内(市外)の 小中学生～ 大人	50人	【午前】「おりぞめ封筒作り」(低学年～大人)【午後】《おもりのはたらき》(低学年)〈浮かせて遊ぼう〉(高学年)の講座を開催。(各2時間)
3月23日	中央市民センター	市内(市外)の 小中学生～ 大人	70人	【午前】「おりぞめノートづくり」(低学年～大人)【午後】《空気と水》(低学年)《ふりこと振動》(高学年)の講座を開催。(各2時間)

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

## ■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

市内の小中学生を中心に大人の方にも、ものづくりや科学を学ぶ機会を提供できたと思います。講座を受けられた参加者からは「ただ教え込まれるのではなく、自分の頭で予想をし、考える時間を大切にできました。」「目の前で実験を見て、自分の目で答えを確認することができた。」「予想してから実験することで、もよもやがすっきりしてよかった」「また参加したいです」と感想をいただいた。「理科、科学は難しく手が出せない。」とイメージされがちですが、たのしく学ぶ機会がもてたと思います。

## ■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

理科、科学への関心が高く、参加者が増えたこともあり、低学年と高学年に分けて、よりその学年にあった講座を開催し、たのしく学ぶことができたため。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。